

(参考)

< 政府部門にも応用可能な地球温暖化対策に係る取組例 >

平成18年10月27日
経済産業省

		概要	効果
・家電製品・事務用機器等の効率改善			
	(1) 家電製品の買い替え	トップランナー基準の対象となっている冷蔵庫、エアコン、テレビ、照明器具、電気便座等を、省エネ効率の高い製品に買い替え。	・冷蔵庫：機器の電力使用量が55%改善(98→06年度(推計)) ・エアコン：機器の電力使用量が42%改善(97→06冷凍年度(推計)) ・テレビ：機器の電力使用量が31%改善(97→06年度(推計)) ・照明器具：機器の電力使用量が14%改善(97→06年度(推計)) ・電気便座：機器の電力使用量が10%改善(00→06年度(推計))
	(2) 事務用機器の買い替え	パソコン、複写機等の事務用機器等を省エネ効果の高い機器に買い替えるとともに、省エネモード設定に変更。	・パソコン：同じ作業を行う際の電力使用量が83%改善(97年度→05年度(推計)) ・複写機：機器の電力使用量が31%改善(97年度→06年度(推計))
・建物等のESCO事業の推進(エネルギー・サービス・カンパニー事業)			
	(1) 空調	主な省エネ手法： 空調用ポンプのインバータ化 等	[取組例] 事務所ビル(沖縄県那覇市) 省エネ効果：建物全体のエネルギー消費量が49.2%改善 CO2削減量：340t-CO2/年
	(2) 照明	主な省エネ手法： 高効率照明器具への更新 等	[取組例] 事務所ビル(石川県金沢市) 省エネ効果：建物全体のエネルギー消費量が40.0%改善 CO2削減量：25t-CO2/年
	(3) 各種対策	主な省エネ手法： 氷蓄熱による空調の全面リニューアル、 空調機給排気ファンのインバータ制御、 室外機への自動水噴霧装置の取付、 蛍光灯インバータ化及び照度アップ反射板、 電気給湯器のエコキュートへの更新、 等	[取組例] 事務所ビル(神奈川県横浜市) 省エネ効果：建物全体のエネルギー消費量が28.9%改善 CO2削減量：1,216t-CO2/年
・設備の効率改善			
	(1) 空調設備(水和物スラリ)	従来の空調システムに使用していた水に比べ2～3倍の冷熱効果を持つ液状物質(水和物スラリ)を用いた空調システム。	[取組例] 川崎市地下街： 年間1,000t-CO2削減(見込み)
	(2) 高効率(LED)照明	LEDは、電流を流すと発光する半導体。90年代に青色LEDが開発され、これにより白色発光が可能となり、照明用として普及が進展。従来の白熱灯・蛍光灯と比較し、長寿命かつ省エネ。	○省エネ効果：蛍光灯に比べ20%改善、白熱灯に比べ80%改善 (目標達成計画策定時の見込み) [取組例] コンビニチェーンの実証実験： 照明について、30～50%の省エネ効果